

本時の目標

- 旅びとが大根やきを食うた様子から、旅びとにとっての大根やきの意味について考え、意見を交流し合う。
- 百姓が大根を盗んできて大根やきをして旅びとに食わしてやった行為について考え、意見を交流し合う。
- その晩、足あとがあゆむあとからのように消えてしもうた雪について考える。

発問・指示	児童の応答予想	教師の組織と対応(タクト)
<p>今日学習する場面を読んでください。</p> <p>もう一人読んでくれますか。</p> <p>今日学習するところの最初はなんという言葉で始まっていますか。</p> <p>けれどものように、文と文をつなぐ役割の言葉を何と言いますか。</p> <p>文と文をつなぐ接着剤のような言葉ですが、前後の文がどういう関係のときに使うのでしょうか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 全員がそろって音読しようとする班とそうでない班があるだろう。 • 個人で音読する • 個人で音読する • けれども • 接続詞 • 意味が反対の関係 • 逆接 	<ul style="list-style-type: none"> ◇全員そろって班を評価しながら(2・4・5・6班?)班指名する。 ◇音読の優れたところを評価するとともに、体を向けて聞いている班を評価する。(3・2・6班?) ◇新たに全員がそろって音読しようとする班が出ることを期待したい。(1・3班) ◇音読と聞き方への評価。 ◇全員が考えられる発問なので全員が立てている班を評価。 ◇学習した内容ではあるが、立てない児童がいる時は少しのヒントを提示。 ※低学年なら「つなぎ言葉」漢字3文字 「詞」で終わる ◇立てる児童が少ないと感じた時にはよく似た言葉を出させてみる。 ※しかし だが でも… (例文)服を買いたい。 でも お金がない(買えない)。

発問・指示	児童の応答予想	教師の組織と対応(タクト)
<p>ここのけれどもの前は… いらんというのはなにが要らないと言ってるのかな。</p> <p>けれどもの後ろの文は… もてなすものは要らないと もてなすもんがない…反対 になってないように見える けど、よく考えると百姓の 文に表されていない思いが 読み取れるね。</p> <p>旅びとの疲れた様子を見て なんとかもてなしてやりた いと思って家の中を見回し てみると… 百姓は何を思い出しました か。 (どこの家を思い出したか)</p> <p>かこうであるところから… <u>まず</u>どうしたの。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「…おら、なんにもいらんぞ」 • 食べるもの • もてなすもの • 泊めてくれるだけで充分 • 泊めてもらえるだけで有難い • これで寒さをしのげる • もてなしてやるもんがない <ul style="list-style-type: none"> • なんにもいらんと旅びとは言 うけどなにかもてなしてやり たい。 • かなり疲れている様子だった からなんとか食べさせてやり たい。 <ul style="list-style-type: none"> • 何をひとつ旅びとにもてなし てやるもんがない。 <ul style="list-style-type: none"> • となりの大きないえ • 大根をかこうであること • とってもたくさんある <ul style="list-style-type: none"> • 大根を1本ぬすんできた • 大根やきをした • 旅びとに食わしてやった • 自分は食べなかった 	<p>◇前時に学習した旅びとの百姓 に対する気遣いを思い出して ほしい。 ⇒評価できるポイント</p> <p>このあたりの発言が出てきて くれたら嬉しい。</p> <p>◇ていねいな説明で考える糸口 をつかませてやりたい。 ※何と何が反対になってないか 反対になるための百姓の思い とは…</p> <p>◇いらんと言った旅びと… なんとかしてやりたいという 百姓… 旅びとと百姓の心のふれあ いを感じさせてやりたい。</p> <p>◇時間的に余裕があるようなら 「貧乏」と「びんぼう」の表記の 違いに気づかせたい。</p> <p>◇「かこうである」という表現に ついては少し説明が必要かも 知れない。 ※保存できるようにして蓄える</p> <p>◇つけたしで発言を続けたい ところ… ※ぬすんできて？ 大根やきをして？ 百姓は？</p>

発問・指示	児童の応答予想	教師の組織と対応(タクト)
<p>旅びとはなんと言って大根やきを食うたのですか。</p> <p>この大根やきってほんとに美味しかったのかな。</p> <p>旅びとはしんからうまそうに食べたと書いてあるけどこの「しんから」を作者は平仮名表記にしていますが、みんなが漢字で表すとしたらどんな漢字にしますか。理由も含めて考えてみてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • うまいうまいとしんからうまそうにして食べた • 寒くてその上におなかがすいていたから両方の意味を表すためこの書き方をした • 旅びとはすごくおなかがすいていたから本当に美味しかったと思う。 • なんにもない百姓の家だから味つけもないもんだったかも知れないが、旅びとには美味しかった。 • 心：心から美味しかった 芯：体の芯から温まった 真：本当に美味しかった 親：百姓の親切心が有難い 信：人を信じる事が出来た 清：気持ちが清らかになった 身：身が中から温まった 深：深いところまで温まった 	<p>◇ここでも接続詞の不思議な使われ方が出てくることに気づかせる。</p> <p>※寒い晩だった<u>から</u>あったかいあったかいとおなかがすいていた<u>から</u>うまいうまいと</p> <p>◇これに気づける児童が出てこない時にはこちらから説明として話していく。</p> <p>◇大根やきといっても大根を水で煮込んだようなものであることを知らせる。</p> <p>焼く炊く煮る(火を使った調理)この頃はすべて「やく」と表現されていたようだ。</p> <p>※今のわたしたちにとっては、美味しいものではないかも知れないが、旅びとにとってはというところに理解が進めば次の発問につなげる。</p> <p>◇漢字一文字で「しん」を表すことに少し時間をとる。</p> <p>個人で考えたり、班の仲間に相談するものもいるだろう。</p> <p>※なぜその漢字を選ぶかの理由が旅びとの心情につながっていくので、理由を表現できることを意識させる。</p> <p>◇子どもたちひとり一人の意見に耳をかたむけ評価する。</p> <p>◇理由をうまく伝えるのが難しい場合は、他の児童に考えを</p>

発問・指示	児童の応答予想	教師の組織と対応(タクト)
<p>貧乏な百姓がひとり住んでおったところにひとりの旅びとがやってきて、ふたりの間にあたたかいつながりができたようですが…</p> <p>この大根はどうして手に入したのでしたか。</p> <p>百姓が大根を盗んできたという行為についてどう思いますか。</p>	<p>進：旅を進めていく気持ちになることができた</p> <p>神：神様に会ったくらい嬉しかった</p> <ul style="list-style-type: none"> • 百姓がぬすんできた • 大根をかこうであるところから盗んできた • やっぱり盗んできたのは悪いと思う • 旅びとはなんにもいらんといってるのだから盗まなくてもいいと思う • 弱っている旅びとのためだから仕方がないと思う • 自分のためではなく旅びとのために盗んでいるのだから許していいと思う • かこうであるくらいだからたくさんあるのでその中の1本だけなのでいいと思う • 困っている人を見て助けるのは悪いことではない 	<p>出させる。</p> <p>◇出てくる漢字が少ない場合はまだまだ考えられるはずだよと再考をうながしていく。</p> <p>◇大根を盗んできた百姓の行為についてどう思うかをひとり一人で少し考えさせる。</p> <p>◇個人で考える時間をとった後班で意見交流をさせる。ただし班の中で意見をまとめさせることはしない。</p> <p>※時間的に話し合いの時間をとらない選択肢も持つておく。(盗みが悪いことだいう価値観はぶれることなく子どもたちに感じさせるよう心がける)</p> <p>◇悪いのはわかっているがこの百姓の行為は許してもいいのでは…的な意見を引き出していくためにゆさぶりをかける</p> <p>◇子どもたちの意見が盗みは悪というほうに流れた場合には無理に方向転換しないようにする。</p> <p>⇒この辺りのならわしを考える時に語り伝えた人たちの思いと比較させる。</p>

発問・指示	児童の応答予想	教師の組織と対応(タクト)
<p>最後に終わりの3行について読んでいきましょう。 この3行だけ音読してくれる人はいませんか。 その晩何が起こりましたか。</p> <p>雪はふってきて 雪がふってきて 1字違いでずいぶん感じが違うようになりますね。 どう違うのでしょうか。</p> <p>あゆむあとからのようにと いうのはどんな感じがしますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 音読(1～2名) • さらさらと雪はふってきて • 雪がふってきて…は自然現象な感じがする 雪はふってきて…になると雪が自分からふって来る感じ • 雪は…だとまるで雪に意志があるような感じがする <p style="text-align: center;">↓</p> <p>※逆の立場で意見が出ることも考えられるがなぜそう感じたのかを確かめながら進める。</p> <ul style="list-style-type: none"> • あゆんで足跡がついたらすぐそのあとから足あとが消えていくような感じ • すうっとみんな消えてしまったと書いてあるから足あとはまったく残っていない 	<p>◇さまざまな意見が対立して出続ける場合は判断の基準になる視点として善・悪 正・誤 美・醜など違いがあることを知らせる。 (ここまでの対立・分化が生まれたら授業者としては大変嬉しい)</p> <p>◇積極的に参加しようとしている姿勢を評価して指名する。</p> <p>◇「雪が」と読み間違える児童がいるかもしれないが表現としてはそれがより自然なので、教師も読み違いに気がつかなかったようにふるまう。</p> <p>◇雪は…と雪が…の違いをどの程度まで子どもたちがとらえられるのかは少し予想がつかないところがあるので、子どもたちの発言を大切にしながら児童それぞれの感じ方の理由を確かめていきたい。</p> <p>◇このあたりから消えてしまわないと何が困るのかを考えていき雪が足あとを消してくれたような印象につなげられるかも知れない。</p>